

三枝照夫（さえぐさ・てるお）先生



株式会社フリーダム 代表取締役  
立命館大学客員教授

- 1951 年 4 月 神奈川県横浜市生まれ
- 1975 年 3 月 早稲田大学商学部卒業
- 1975 年 4 月 日本ビクター株式会社入社 後 ビクター音楽産業株式会社出向  
(現在は各々、「JVC ケンウッド」「ビクターエンタテインメント」に改称)
- 1999 年 6 月 取締役に就任 第1制作宣伝本部長
- 2002 年 6 月 代表取締役に就任 専務取締役に就任
- 2004 年 1 月 代表取締役専務取締役 兼  
JVC エンタテインメント・ネットワークス株式会社CEO(代表取締役)
- 2007 年 6 月 取締役会長就任
- 2008 年 4 月 取締役会長 担当 邦楽制作統括
- 2009 年 1 月 取締役会長 兼  
ビクターミュージックパブリッシング株式会社 代表取締役社長
- 2010 年 1 月 アドバイザー(相談役)就任
- 2010 年 7 月 株式会社フリーダム設立 代表取締役就任～現在に至る

(※担当したアーティスト 松本伊代、小泉今日子、荻野目洋子、酒井法子、SMAP、Kiroro、19、  
広瀬香美、ラブサイケデリコ他、現在は石井聖子)

## 《講義概要》

本講座のコーディネーターであり株式会社フリーダム代表取締役でもある立命館大学客員教授の三枝照夫氏が、後期講義の総括を行った。

開講時に三枝氏が専門的な視点・知識を持ったプロフェッショナルから学ぶ講義であると述べられた通り、音楽業界をはじめとするエンタテインメント・ビジネスの第一線で活躍する多彩な講師陣を迎え、全15回の講義が行われた。10月3日の第2回講義以降登壇した13名の講師について、それぞれの講義を振り返りながら、講義の要点を話した。音楽産業の現状だけではなく、アーティストを取り巻く環境の変化や、海外進出、2020年の東京オリンピックに向けたエンタテインメント産業における今後の課題が、講師陣より話され、一般教養・知識としてのエンタテインメント・ビジネスを会得する機会となった。

また、面白いこと・すてきなことに一生懸命取り組めば、必ず花開く時がくる。その時期は人によって異なるが、目の前にある仕事を真面目にやっていたら、意外と神様が見てくれており、道が開ける時がくる。暗いことを考えるばかりではなく、良いところを見つけて、明るい方向へ考えることが重要である。また、著名な講師陣と間近に接する機会でもあるので、質問等を行うことで良い意味で自分をアピールし、自分を売り込むことで、受講生自身が大きくなってほしいと今後社会人となる受講生に対してエールを送った。

受講生からは、半年間の講義に対する感謝と共に、特に印象に残った講義や音楽産業・コンテンツ産業の現状や裏側、今後の展望を知ることが出来たと多くの声が挙げられた。

